

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず)赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値)

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・いきいき百歳体操の普及	各学区において自治会等と共催して、いきいき百歳体操を開催します。	健康推進員連絡協議会 民生委員児童委員協議会 老人クラブ	●いきいき百歳体操の参加・協力・支援(各自治会単位等)実施	民生委員 各々の地域にて実施 健康推進員 ●いきいき百歳体操の支援(各自治会単位等で実施)	B	民生委員 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 健康推進員 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 23.4% 女性 18.2% 65～69歳男性 43.8% 女性 35.4% 徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 36.1% 女性 29.4% 65～69歳男性 37.5% 女性 28.0%	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 26.5% 2022 27.5% 女性 20.7% 2022 18.5% 65～69歳男性 34.9% 2022 28.6% 女性 42.3% 2022 34.1% 徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 40.3% 2022 43.2% 女性 32.4% 2022 30.5% 65～69歳男性 39.7% 2022 35.7% 女性 44.4% 2022 20.5%	A A C A A A A A	↗ ↗
・ウォーキングの実施	ウォーキングマップ等を活用して、ウォーキングを実施します。	健康推進員連絡協議会	●ウォーキング ①全体事業として ②各学区、各自治会単位でウォーキングの実施	●ウォーキング 各学区において、少人数に分かれてウォーキングを実施した。 また、現任研修にて運動を通じた心身のリフレッシュを図り、効果的なストレッチについて学習した。	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・就労者への運動の勧めと機会の提供	就労者の運動不足解消のために、運動の勧めと機会の提供を行います。	商工会	●ボウリング大会の実施	ボウリング大会を実施した	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・出前講座の実施	軽体操(家でも簡単に続けることができる体操)たレクリエーションなどの指導を行います。	社会福祉協議会	●出前講座として、地域で実施されるサロンや老人クラブに職員が出向き、レクリエーションや体操、介護予防講座等を実施	地域ささえあい推進員や老人福祉センター指導員等が地域等外部に出て指導を行った回数は、やすらぎの家、ゆうあいの家、なごやかセンターの3館にて計44件。コロナ禍ではあるが行動制限の解除等もあり徐々に地域活動として再開の兆しが表れている。	A	<input type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 地域活動を更に活発化していくため、「老人福祉センター健康づくり講座」の推進や新たな出前講座等を提案していく。				
・各老人福祉センターでの各種教室の開催	なごやかセンターにおいてはカイロプラティック教室(ストレッチ)など、市内各老人福祉センターでからだを動かす機会を提供します。	社会福祉協議会	●老人福祉センターにてレクリエーションや軽体操を実施して、体を動かす機会を週にわたり実施。 ●老人福祉センターにて介護予防等に関する講座を実施。 ●地域サロン、老人クラブ等に健康づくり講座を実施。 ●なごやかセンターでは既にカイロプラティック教室は終了し、他の運動教室に移行。	老人福祉センターでの健康づくりに関係する活動としては、開館日毎回実施している軽体操が3館計585回。更に活動行事の中にも、花見を兼ね周辺地域をウォーキングする等健康づくりやフレイル予防につながる活動を多数回実施している。感染症対策は継続しながら実施できた。	A	<input type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 感染症拡大防止の観点からできなかったフレイル予防教室等企画開催を予定。				

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず)赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値)

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・健康教室の開催	健康運動指導士を派遣する健康教育を、民生委員児童委員協議会と協力し、開催します。	社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会	●民生委員児童委員協議会と協力して「大宝西リフレッシュ健康教室」開催 コロナ感染症の状況をみて開催の有無を検討する。	社協 大宝西学区民児協主催にて実施。R4年度はウォーキングと見守りあい活動を兼ねて実施した。今回は4回シリーズにて実施。 民生委員 介護予防や健康づくりの一環として実施	B	社会福祉協議会 □令和4年度(実績)と同じ ☑新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) R5年度についても、社協と民児協両者にて協議し内容等決め実施したい。				
・ニュースポーツ(スローイングビンゴ、公式ワナゲなど)の普及	市ふれあいニュースポーツ大会の開催をはじめ、ニュースポーツ普及のための派遣事業を行います。	スポーツ推進委員協議会 スポーツ文化振興課	●ニュースポーツ(「スローイングビンゴ」「公式ワナゲ」「ディスコン」「スリータッチ」等)を通じて、地域と連携を図る ●動画によるニュースポーツの紹介 ●各学区地振協主催の「みんなのスポーツ講習会」へ、スポーツ推進委員を派遣し、支援・助言を実施 ●各種団体等が主催の生涯スポーツに関する研修会や講習会へスポーツ推進委員を派遣し支援を実施	●オリパラの開催を機に誰にでも出来るポッチャやニュースポーツを通じて、地域と連携を図りました。 ●動画によるニュースポーツの紹介を行った。 ●各学区地振協主催の「みんなのスポーツ講習会」へ、スポーツ推進委員を派遣し、支援・助言を実施 ●各学区地振協体育部等が主催する生涯スポーツに関する研修会や講習会へ、スポーツ推進委員を派遣し、支援・助言を行いました。	B	☑令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・ニュースポーツ教室への協力	各学区のニュースポーツ教室への参加に協力します。	社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会	●ニュースポーツ教室への参加・協力 コロナ感染症の状況をみて開催の有無を検討する。	社協 ニュースポーツ大会としては開催されず。 民生委員 各々の地域にて実施	B	社協 □令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 民生委員 ☑令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・新体力テストの実施	文部科学省の取り組みを受けて滋賀県が定めた実施要項に則り、全ての小中学校を対象に実施し、実態把握と体力向上に努めます。	市立小中学校	●新体力テストの実施	●インターネット等による事業情報や施設予約状況情報の提供をおこないました。 ●フェイスブックにより各種事業の案内・紹介等をおこないました。	B	□令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	運動習慣のある児童生徒の増加 小学生 63.3% 中学生 77.8%	運動習慣のある児童生徒の増加 小学生 64.0% 中学生 77.7%	B B	↗

【目指す方向 行動目標】

- 運動する習慣をつくろう。
- 日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず)赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値)

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・運動や外遊びの啓発	1日30分以上の外遊びや運動の必要性を児童生徒や保護者に啓発します。	市立小中学校	小学校 ●マラソンタイム、マラソン大会の実施 ●全学級にドッジボール、サッカーボール、大縄を配付 ●運動委員会で運動のきっかけづくりとなる企画を増やす。 ●10分間運動の実施 ●長期休暇になわとびなどの運動の宿題 ●学級ごとで「みんな遊び」の計画・実施 ●市の水泳大会、陸上大会への参加 中学校 ●生徒主体でNBC体育の部(体育祭)や生徒会活動(球技会)を積極的に進める。 ●生徒会体育委員会による外遊びの啓発(ボールの貸し出し等)	小学校 ●全学級にドッジボール、サッカーボール、大縄を配布 ●児童運動委員会で運動のきっかけづくりとなる企画を増やす。 ●10分間運動の実施 ●長期休暇になわとびなどの運動の宿題 ●縦割りや学級ごと「運動遊びの計画・実施 ●がん教育など保健の学習で、運動することの大切さを学習する。 中学校 ●生徒会体育委員会による外遊びの啓発(ボールの貸し出し等) ●体育祭や生徒会活動(球技大会)で特色ある取り組みを実施 ●部活動への加入を啓発	B	養護教諭 □令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
	からだを動かして遊ぶ機会が減少しているため、主体的にからだを動かす遊びを中心とした活動を園生活全体の中で確保します。	幼稚園・保育園・幼児園	●散歩や運動遊びなど楽しく体を動かすことができる活動を保育に取り入れ、戸外でのびのびと体を動かせるようにする。 ●自らすすんで運動あそびに取り組めるよう、保育の工夫、環境整備を行う。	・散歩や運動遊びなどを積極的に取り入れ、楽しく体を動かすことができる活動を実践しました。 ・子どもたちが主体的に運動遊びに取り組めるような工夫を図りながら、保育実践を行いました。	B	□令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・運動不足の解消とカルシウム摂取不足の解消に関する啓発	幼稚園、保育園、幼児園の保護者、小学生に対して、カルシウム摂取量を増やすこと、運動により子どもの頃から骨量を高め、維持することの必要性についての知識を普及します。	幼稚園・保育園・幼児園 幼児課 市立小学校 健康増進課	●幼稚園、保育園、幼児園の保護者を対象とした研修会の実施 ①2月 治田幼稚園・治田保育園 ●給食だより等に掲載を実施	・幼稚園保育園幼児園の保護者を対象とした研修会の実施しました。 ・感染症の影響により、外部講師による集団での研修実施を見送りました。 ・3月の給食だよりに掲載予定。	B	□令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 23.4% 女性 18.2% 65～69歳男性 43.8% 女性 35.4%	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 26.5% 2022 27.5% 女性 20.7% 2022 18.5% 65～69歳男性 34.9% 2022 28.6% 女性 42.3% 2022	A A C A	↗
・スポーツ事業の実施	スポーツ推進計画に沿って、各世代を通じて参加できるくりちゃんファミリーマラソン、ウォーキング事業などスポーツ事業を実施します。	スポーツ文化振興課	●くりちゃんファミリーマラソンとウォーキング健康づくり事業として、耐寒アベック登山大会を実施 ●市スポーツ協会と連携し、健康とスポーツを結びつける事業を実施	●くりちゃんファミリーマラソン(栗東市ロード競技三大会実行委員会主催)11月23日は雨天により中止(参加申込:479人) ●健康づくり事業として「耐寒アベック登山大会」を1月15日に開催(栗東市ロード競技三大会実行委員会主催)参加人数:246人 ●市スポーツ協会とも連携し、「すっきり体操」「歩こう会」などで自らの健康年齢を知ることがを目的に、健康とスポーツをより結びつける事業を実施しました。	B	□令和4年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 36.1% 女性 29.4% 65～69歳男性 37.5% 女性 28.0%	徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 40.3% 2022 43.2% 女性 32.4% 2022 30.5% 65～69歳男性 39.7% 2022 35.7% 女性 44.4% 2022 20.5%	A A A A	↗

【目指す方向 行動目標】

○運動する習慣をつくろう。

○日常生活の中でからだを動かすようにしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために下記以外の取組・事業がありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料3

評価 A:改善 B:変化なし(±1%未満) C:悪化

2. 身体活動・運動

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている (D:評価できず)赤字は、2022アンケート結果データ(暫定値)

取組・事業	内容	担当部署	R4(2022)年度 取り組み計画	R5(2023)年3月31日時点(見込み含む)実績	進捗状況	R5(2023)年度 計画 (昨年度からの改善や追加もあれば記載)	評価指標		中間評価	目標 H34 (2023)
							基準値 H26(2014)	中間 H29(2017)		
・スポーツ施設の利用案内および混雑情報の提供	スポーツ施設利用を促すための情報提供に努めるとともに、利便性を向上させるための混雑情報の提供についても検討していきます。	スポーツ文化振興課	●インターネットを活用した、事業情報や施設予約状況情報の提供を実施	●インターネット等による事業情報や施設予約状況情報の提供をおこないません。 ●フェイスブックにより各種事業の案内・紹介等をおこないません。	B	<input type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・トレーニング機器開放事業	介護予防を目的として、65歳以上の人を対象にトレーニング機器を使った筋力運動の機会を提供します。	長寿福祉課	介護予防事業の実施 ●トレーニング機器開放事業および講習会の開催	運動リスクのあるものを対象とした午後の部のみ開催 48回、延212人(4月から6月は新型コロナウイルス感染症の状況により休止)	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・いきいき百歳体操の普及・啓発	いきいき百歳体操の普及・啓発を実施します。実施希望団体には技術支援を実施するとともに、実施団体への継続支援を行います。	長寿福祉課	●いきいき百歳体操の普及啓発および新規・継続支援の実施 ●いきいき活動ポイント事業で当日運営に関わるボランティアにポイントを付与(登録必要)	コロナ禍のなか、訪問を受け入れる団体に訪問。34団体訪問。(12月末時点。3月見込みは出せない。) いきいき活動ポイント事業に登録しているいきいき百歳体操実践団体41	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 23.4% 女性 18.2% 65～69歳男性 43.8% 女性 35.4%	運動習慣者の割合の増加 20～64歳男性 26.5% 2022 27.5% 女性 20.7% 2022 18.5% 65～69歳男性 34.9% 2022 28.6% 女性 42.3% 2022	A A C A	↗
・特定保健指導での運動指導	特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった人に生活習慣改善に伴う運動指導を実施し、メタボリックシンドロームの改善を推進します。	健康増進課	●特定保健指導での生活習慣改善に伴う運動指導(特定保健指導利用者)	必要に応じてリーフレットを使用しながら運動指導することができた。また、11月28日、2月22日は集団、1月23日、3月6日は個別で健康運動指導士に指導していただいた。	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)	徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 36.1% 女性 29.4% 65～69歳男性 37.5% 女性 28.0%	徒歩10分で行けるところへ徒歩で行く人の増加 20～64歳男性 40.3% 2022 43.2% 女性 32.4% 2022 30.5% 65～69歳男性 39.7% 2022 35.7% 女性 44.4% 2022 20.5%	A A A A	↗
・自主活動グループの活動支援	健康体操の自主活動グループの活動を支援します。	健康増進課	●健康体操自主グループから相談があれば対応	●相談を受ける機会がなかった。	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・「ふだんの生活習慣アンケート調査」の実施と活用 【変更】 「新体カテスト」の実施と活用	「ふだんの生活習慣アンケート調査」に運動に関する質問項目を設定し、市内児童生徒の現状把握と運動に対する意識の向上を図ります。 【変更】 →市内小中学校の全児童生徒を対象とした「新体カテスト」を実施し、実態把握と体力向上に努める。	学校教育課	●「ふだんの生活習慣アンケート調査」に、運動に関する質問項目を入れ、市内児童生徒の現状把握と運動に対する意識の向上を図る。 ●文部科学省の取組を受けて、滋賀県が定めた実施要項に則り、市内小中学校の全児童生徒を対象とした「新体カテスト」を実施し、実態把握と体力向上に努める。(5～7月)	文部科学省の取組を受けて、滋賀県が定めた実施要項に則り、市内小中学校の全児童生徒を対象とした「新体カテスト」を実施し、実態把握と体力向上に努めた。(5～7月)	B	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				
・運動公園等の維持管理	誰もが安心してレクリエーションや運動場として利用できるよう、公園の維持管理を行います。	都市計画課	誰もが安心してレクリエーションや運動場として利用できるよう、公園の維持管理を行います。	誰もが安心してレクリエーションや運動場として利用できるよう、公園の維持管理を行いました。	B	<input type="checkbox"/> 令和4年度(実績)と同じ <input type="checkbox"/> 新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)				